

市政クラブ 活動報告

Vol.4

発行:市政クラブ



高野 たけし

無所属34歳・2期目

逗子市議会議員

総務常任委員会委員

中央大学大学院修士課程修了



長島 有里

無所属29歳・1期目

逗子市議会議員

教育・民生常任委員会委員

立教大学法学部卒

教育現場の改善に 今、最も必要なことは？

公立中、完全給食への課題

かつて、他市の市長が「子供にとって一番快適な温度は？」という問いに、「それは5度から30度」と。つまり、エアコンなど使わずにあらゆる環境に免疫力を高める必然性を訴えたそうです。

しかし、家庭にエアコンが普及した現在は、なかなかそうも言っておれず、逗子小に設置したエアコンを市内全校に普及させることは公平性の観点からも急務です。

これとあわせて、逗子市の教育現場のインフラ整備としての課題は、中学校への完全給食導入です。

全国の公立中学校では、8割以上で実施されていますが、神奈川県内では約16%と低い水準になっています。

給食実施への一番の課題は、何と言っても予算です。

過去に逗子市の教育委員会が出した試算では、年間、約1億円のコストがかかるということでした。

ただ、民間に競争させた上で、委託するなどアウトソーシングすることで、コストの軽減は図れるはずで、より綿密なコスト分析を要請しています。

また、本会議においても、たびたび生徒や保護者へのニーズ調査を求めてきたところです。

教育委員会からは、千葉県・船橋市、東京都・練馬区、厚木市、三浦市など、先行事例を調査しているなどと、一般質問で答弁がりましたが、コスト、運営手法、実施目標時期などは、まだ明らかにされていません。

景気が再び低迷しつつあり、逗子市の歳入見通しも厳しい一方で、行政のスリム化や入札改革による公共事業費の節減により、新しい取り組みが全くなできないという状況ではありません。まず、何から手をつけていくべきか。

優先度をしっかり見極め、コストの妥当性、市民ニーズなどを念頭に、チェックや提言をしていきます。



「部活動」を市民開放へ



中学時代の思い出・・・といわれてみなさんは何を思いだされるでしょうか。中学生活でもっとも印象に残っているのが「部活」という方も多いのではないのでしょうか。

この部活動、ご存じのとおり学校の先生が野球やサッカーなどの顧問をしています。しかし、欧米では、部活動の顧問は地域の市民が担っており、先生は授業に専念できる環境を整えています。

現在、市内における部活の外部顧問は30%です。これは全国でもみても比較的高い数字ですが、私たちは、さらに部活動の顧問を市民に広く公募していくことを求めています。

村上教育長も、「部活動の指導を一層市民にお願いし、拡充に努めてまいりたい」と議会答弁しており、引き続き、30%の進展を見守る考えです。

中央教育審議会の会長である山崎正和氏も、『文明としての教育』という著書の中で、『「部活」の社会への開放』を改善すべき明日への提言として、まっさきに触れています。

夜スぺのような + の取り組みを

東京都杉並区の和田中学校が夜間に学校を開放し、進学塾の講師による有料授業として夜スぺを展開し、全国的に注目を集めています。

このため、逗子市の保護者からも、学校にこうした+αの取り組みを求める声をよく聞きます。

杉並区の教育委員会に調査したところ、これまでも学校施設をスポーツやおけいこ事など地域に積極的に開放しており、その延長線上に夜スぺがスタートしたとのことでした。

逗子市は、過去にも学校開放の構造改革特区を提案しようとした経緯もあり、学校施設を開放し、特別補修などを開催してもらった取り組みについて提案しました。

私立の逗子開成学園では、再興要因のひとつに、大手予備校と提携したサテライト授業が挙げられており、「夜スぺ」という形式にこだわる必要はありませんが、公立学校の側でも+αの工夫が今、求められています。

高野たけしの一般質問報告(抜粋要旨)

<ごみ処理政策について>

Q.今後の処理方法の比較・試算として、逗子市単独では約81億円、鎌倉市との広域処理では約50億円と、20年間で約31億円もの開きがある。一方で、環境負荷の比較調査中であるが、早急に調査結果を明らかにし、市民への情報開示を行い、市の方針を示すべき。

A.(市長)できるだけ早く方向性を見出すよう努力していく。

<JR逗子駅の放置自転車対策>

Q.JR逗子駅交番横のスペースを自転車置き場にすべきとJRに交渉していたはずだが、コインパーキングに突如なってしまった。JRから話はあったのか。また、違法駐輪の改善状況は？

A.(市長)JR東日本から市に話はなかった。

A.(市民部長)警告書と同時に、駐輪場MAPの配布により、1年間で13%減少した。

Q.JR逗子駅西口の無料駐輪施設が乱雑すぎる、整備方針は？

A.(市長)用地購入を含めて(東京ガス所有地のため)、総合的に検討中。

<JR逗子駅前信号のスクランブル化>

Q.市民グループと交通量調査を行ったが、危険性を再認識した。行政の側で、実態把握と改善に向けた取り組みを。

A.(理事)交通計画の中でも示し、実施を基本に考えている。



長島有里の一般質問報告(抜粋要旨)

<母親・両親教室の改善について>

Q.父親の育児参加という観点からも教室の土曜日開催(近隣市町村ではほとんどが土曜日開催あり)をすべき。

A.(市長)当然検討の余地があると思う。



<総合病院内に病児保育の設置を>

Q.現在逗子市には病児保育の施設がない。総合的病院内に施設を誘致するよう要望はしないのか。

A.(市長)国からの補助金なども最近示された。早急に調査をして病院に対応を要望できるか、その辺を見極めながら取り組みたい。

<公立保育園の定員拡充について>

Q.神奈川県内の待機児童数は2008年度2132人と2年連続大幅増。逗子市においても希望する保育園に入れず待機している児童数は2008年6月時点で21名に上っている。今後の定員拡充策は？

A.(市長)児童数の推移を見極めて柔軟に対応していく体制をつくっていききたい。

<小坪南が丘のミニバス>

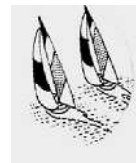
Q.4月に小坪南ヶ丘においてミニバス走行テストが実施されたが今後の市の取り組みについては？

A.(理事)事業者としては、採算性が一番のハードル。だが粘り強く協議を続けていく。道路整備についてもその対策は検討していきたい。



【編集後記】

今夏、第3回全日本ジュニアウインドサーフィン大会が初めて逗子海岸で開催されました。2日間に渡って熱戦は繰り広げられましたが、暑さにも負けず頑張っている姿に大きな声援を送らずにはいられませんでした。併せて開催されたウインドサーフィンの無料体験にも多くの子ども達が親御さんと一緒に参加し、笑顔で楽しんでいました。逗子海岸で過ごした時間が、子ども達の楽しい夏の思い出になることを願っています。



高野毅

私事で恐縮ですが、今年の二月に第二子を出産しました。そのため逗子市議会では初の産休を産前産後8週間取らせていただきました。最近、ワークライフバランスという言葉をよく耳にします。仕事とプライベートのバランスを上手く取り、自分らしい生き方を模索するといふものです。子供が産まれたことで、確かに時間的には忙しくなりましたが、議員の立場で一から子育てをすることで、仕事につながる発見がたくさんあります。これからも母親の目線も大切に政策提案をしていきたいと思っています。

長島有里

ご意見お待ちしております。
Eメールアドレスはこちら
高野毅
take_takano@k6.dion.ne.jp
長島有里
yuri_nagashima@yahoo.co.jp

